

**アライドテレシス、株式会社日立製作所の JP1/IT Desktop Management 2 と SDN 連携
～アクセス制御設定の自動化による運用効率の向上と端末状態の一元管理を実現～**

アライドテレシス株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 大嶋章禎）と、株式会社日立製作所（本社 東京都千代田区、執行役社長兼 CEO 東原敏昭、以下日立製作所）は、アライドテレシスの SDN/アプリケーション連携ソリューション「AMF-SEC」と、日立製作所の統合システム運用管理「JP1」の資産・配布管理製品である「JP1/IT Desktop Management 2（以下、JP1/ITDM2）」を連携し、SDNによるネットワーク運用管理の効率化と端末状態の一元管理を図るソリューションの提供を開始したことを発表いたします。

日立製作所の「JP1/ITDM2」は、「機器の管理」「ソフトウェアの配布」「セキュリティ対策」など、IT 資産管理に欠かせない機能をオールインワンで提供する資産・配布管理製品です。中小規模だけでなく、中継システムの設置により、大規模環境にも対応。操作しやすいインタフェースと豊富な管理機能で、PC やサーバだけでなく、仮想デスクトップやスマートデバイスなど、多様化する IT 資産のハードウェア情報、ソフトウェア情報、セキュリティ情報などを自動収集し、一元管理します。

アライドテレシスの「AMF-SEC」は、企業のネットワーク運用を最適化し、サイバー攻撃や内部犯行への対策、管理端末の情報インシデント対策に向けたエッジスイッチによるセキュリティ強化ソリューションとして開発。アプリケーションと連携・連動するネットワークによってユーザートラフィックの動的制御機能を提供。セキュリティの強化と、ネットワークの運用にかかるコストの削減、運用負荷の低減を実現しました。

このたび、JP1/ITDM2 との連携により、ネットワーク運用効率化を図るソリューションを提供いたします。具体的には、JP1/ITDM2 管理下にある IT 資産管理情報（MAC アドレス情報、端末情報、利用者情報、部署・場所情報等）を基に、ネットワークのアクセス認証情報を設定。これにより、JP1/ITDM2 管理下にある情報端末のみ業務ネットワークの利用を可能とし、未許可端末による不正接続から業務ネットワークを守ります。

また、部署や場所移動が生じた場合、JP1/ITDM2 上での情報更新を行うだけで、仮想ネットワークの変更が容易に実現でき、運用効率の向上を図ります。



JP1/ITDM2 : JP1/IT Desktop Management 2

図 1 : システム連携概要図

PRESS RELEASE

本連携ソリューションは、統合システム運用管理 JP1 専用ホームページ内、連携パートナー製品としてご紹介頂きました。

<https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/partner/index.html#developerPtner>
https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/partner/details/dev_jp1_amf_sec.html

【統合システム運用管理 JP1 ホームページ】

<https://www.hitachi.co.jp/jp1/>

【アライドテレシス株式会社について】

アライドテレシス株式会社は、ネットワーク専門メーカーとして、企業、医療、自治体・文教などあらゆる分野において、先進のテクノロジーによる高信頼なネットワーク製品、ソリューション、IT サービスをご提供しています。

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

アライドテレシス株式会社 マーケティングコミュニケーション部 田中利道
TEL:03-5437-6042 FAX:03-5437-6044 E-Mail: totanaka@allied-telesis.co.jp

- ・ニュースリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。
- ・ニュースリリースに掲載されている内容、サービス/製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、ニュースリリースにおける計画、目標などはさまざまなリスクおよび不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください